



地域に学び あたたかさに包まれる学校

北村小学校

北村小学校は、校の名所として知られる県立自然公園旭山のふもとに位置し、樹齢120年を超えるイチヨウの大木が子ども達の成長を見守り続けています。

平成15年の宮城県北部地震で校舎が全壊してしまいましたが、現在は、光がさんさんと降りそそぐ明るい新校舎で、83人の子ども達が学んでいます。

郷土教育発祥の地、北村小学校は今もなお地域の人々に支えられながら教育活動を行っています。

その代表的なものが、「おでつて隊」です。一種のスクールボランティアで、さまざまな「おでつて隊」があります。

例えば、「読み聞かせおでつて隊」です。月の第1・第3火曜日の朝、5人の方々が各学年に入り、学年に応じた本を読んでもらっています。読書の習慣化につながり、子ども達は楽しみに待っています。



▲読み聞かせの様子

このほか、「窓ふきおでつて隊」や校庭の草取りをする「草取りおでつて隊」もあります。また、毎年夏には、「剪定おでつて隊」に校庭の樹木の剪定作業をしてもらっています。

ます。

ほかに、総合的な学習の時間の活動として、大沢神楽保存会の皆さんの協力のもと、伝統芸能「大沢神楽」の学習や、大沢民芸保存会の方々の指導による竹・わら細工の学習をしています。

このように、地域の方々の支援をいただきながら地域の良さ、地域のあたたかさに触れる学習を大切にしています。

また、業間の休み時間にゆとりをもたせて30分確保し、特に、毎週金曜日の業間は、縦割りの時間として班ごとの計画に従って遊んだり、花壇に花を植えたりしています。異学年交流を深め、思いやりの心を育てることで、あんなお兄さん・お姉さんになりたいなあという子どもも現れます。

秋には、縦割り班での旭山遠足があります。旭山を県立公園に尽力された郷土の偉人斎藤狂次郎先生の遺徳をしのび、全校で毎年山に登り、楽しく遊び、おいしいお弁当を食べた後は、ゴミ拾い活動をして下山します。子ども達は遠足が大好きです。



▲全校縦割り遠足

今月の表紙から

雄勝地区は硯の原料となる玄晶石の産地として知られ、雄勝硯の歴史は大変古く、口伝によると約600年前の室町時代といわれています。今でも昔ながらの手作りの製法により、硯工人の腕心とついで丹念に彫り上げられています。昭和60(1985)年には、当時の通商産業大臣より国の伝統的工芸品の指定を受け、宮城県のみならず、我が国の誇る伝統的工芸品の一つであります。また、国内産硯の約90%を供給しています。

今回は、硯工人としてその伝統を長く守り続けている高橋さんに表紙を飾っていただきました。

高橋さんは昭和22(1947)年に親せきの方への手伝いがきっかけで硯工人の道を歩み始めました。以来60年以上も携わり、平成9(1997)年には、当時の通商産業大臣より伝統的工芸品の指定を受け、現在、産地工芸士会の会長を務めています。

高橋さんは「墨堂(墨をする部分)から海(すった墨が溜まる部分)にかけてのなだらかな斜面の加減に気を遣い、使う方が墨をすりやすく使いやすいようにと願いながら彫っています。お客様から使いやすいなどと感謝される手紙をもらったときがとてもうれしいですね。後継者不足が切実な問題ですが、ぜひ、この伝統工芸を残していきたい」と話していました。



高橋 仁夫さん
(雄勝地区)





羽ばたけ! 若人 ⑧

今回は、昨年6月から7月にかけて、全国から16、000人を超える珠算学習者の方々が参加して行われた「2009年 全国あんざんコンクール」(主催 日本珠算連盟)で、見事、日本一に輝いた北村諒君と遠山学君、美幸さん兄妹の3人を紹介します。

「全国あんざんコンクール」は、珠算学習の普及を目的に毎年行われる大会で、小学校1年生以下の部から一般の部(50歳以上)まで12の部門に分かれており、3人はそれぞれ高校生の部、中学1年生の部、小学校5年生の部で栄冠を手に入れました。

珠算を始めたのは、北村君が小学校2年生、学君と美幸さんは5歳のときで、北村君は、段位10段を、学君と美幸さんは9段を取得しています。

同じ珠算教室に通い、苦楽を共にする3人は、中里(月水金)、中央(火木土)、双葉町(日)の各教室で約2時間の指導を受けているほか、大会が近くなると、自宅などでも意欲的に練習を行います。

常に努力を怠らない姿勢と「もつと上を目指したい」という向上心が、才能を開花させ実力を維持できる秘訣です。



北村 諒君 (写真中央) (石巻高校1年生)
遠山 学君 (写真左) (石巻中学校1年生)
遠山 美幸さん (写真右) (石巻小学校5年生)

数桁同士の掛け算などを、意図も簡単に解く3人ですが、計算(暗算)しているときは、「頭の中にそろばんの珠をイメージしている」と話していました。全国レベルの大会では、正確さのほかに速さも要求されますが、豊富な練習量で計算に必要な集中力も身に付いています。

今後の目標は、「珠算名人位決定戦に出場し、決勝まで残ること」と話してくれました。実現すれば、現在同大会5連覇中で、同じ教室の先輩土屋宏明さん(株七十七銀行勤務)と鏝を削ることにあります。

3人から「神様のような存在」とまで言われた土屋さんとの「夢の対戦」が、実現することを楽しみにしています。

*1 6桁×5桁の乗算(暗算60問を10分以内で解くレベルで、段位の最高位。
*2 2年に1回開催され、珠算暗算技能日本一を決める競技

知っていますか? 石巻市の...

市の花 “ツツジ” (平成17年10月17日制定)



明るく咲ききそう姿は、市民生活にうるおいを与え、暑さ寒さに強いことから伸びゆく本市を象徴するのにふさわしい花です。

情報をお寄せください

「みんなの広場」は市民の皆さんが参加して、みんなで作るコーナーです。

毎月、次のような方々を紹介しています。

自薦、他薦を問いませんので、情報をお寄せください。

- ・全国大会などで実績のある元気で明るい若者
- ・音楽、スポーツ、ボランティアなど活発なサークル活動をしている団体
- ・元気な高齢者
- ・仲の良い3人以上の兄弟姉妹

☎ 広報広聴課 (内線 211)

にぎやか家族 ⑤1

蛇田下谷地地区



写真左から、杏詩くん、凌人くん、雄飛くん

《将来の夢》

菊池	りょうと	と	ん (10歳)	サッカー選手、船で世界中を旅すること
	ゆう	ひ	ん (7歳)	は 爬虫類博士
	あん	し	ん (4歳)	仮面ライダー ^{ダブル} W

<両親から>

3人仲良く健康で大きくなってください!